

● Photo sketch ●



5/27 スポーツの力で土岐市を元気に!

市総合公園でチャレンジデーのオープニングイベントが開催され、市民ら約400人が参加しました。
 チャレンジデーとは、15分以上連続して体を動かした住民の参加率を自治体同士で競い合うイベントで、この日、市内各地の多くの方から参加報告を頂きました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。結果は次の通りです。
 土岐市…45.6%、27,505人
 徳島県鳴門市…49.9%、30,295人



5/28 命を守るのは適切な初期対応

土岐津中学校で救急救命講習会が実施され、2年生77人が参加しました。
 生徒らは、消防署職員の説明に真剣に耳を傾けながら、心肺蘇生法やAEDの使用方法について実技を交えて学びました。座学を含め約3時間に及び講習を終えた生徒らには、一人一人に修了証が手渡されました。



6/12 温かい手作り品のプレゼント

土岐青年団体協議会のメンバーが西陵中学校を訪れ、グランドピアノカバーや配膳台カバーなど18点の手作り布作品をプレゼントしました。同団体による布作品の寄贈事業は、平成22年度から毎年行われており、今年度、市内全中学校に寄贈する予定です。
 布作品を代表で受け取った生徒会長は、「すてきなカバーをありがとうございました。大切に使います」とお礼を述べました。



6/14 自然のままのもの そのままいただく

陶史の森で大人気講座「ミツバチ教室」が開かれ、市内外からおおよそ150人の親子連れが参加しました。参加者はミツバチの生態や巣箱の説明を聞いた後、ハチミツがたっぷり詰まった巣を手にとって観察。遠心分離機を使った蜜搾りを体験し、搾りたてのハチミツを食パンに付けて味わった子どもたちは、「すごく甘い」と驚いていました。

5/31 守るべきもののために 消防操法大会

第29回土岐市消防操法大会が総合公園多目的広場で行われ、各団の団員や音楽隊員、団本部合わせて約400人が参加しました。競技は、小型ポンプ操法とポンプ車操法の2種目が行われ、団員たちは日頃の練習の成果を発揮し、決められた操作・行動と速さを競い合いました。

- 〈大会結果〉
- 小型ポンプの部
 - ▷優勝…妻木分団 ▷準優勝…下石分団 ▷3位…駄知分団
 - ポンプ車の部
 - ▷優勝…妻木分団 ▷準優勝…駄知分団 ▷3位…肥田分団

- 優秀隊員賞
- 小型ポンプの部
 - ▷指揮者…伊藤雄一(下石) ▷1番員…水野和博(妻木)
 - ▷2番員…安藤伸二(下石) ▷3番員…松本雄大(肥田)
 - ポンプ車の部
 - ▷指揮者…後藤健太(駄知) ▷1番員…水野敦(濃南)
 - ▷2番員…柴田昌明(妻木) ▷3番員…加藤義裕(妻木)
 - ▷4番員…小木曾智廣(駄知)



6/16 思いやりの花を咲かせよう 人権の花運動



心を込めて花の世話をすることで、自分や友達の命の大切さと他人に対する思いやりを学ぶ「人権の花運動」が、人権推進校に指定された駄知小学校で行われました。この日は、1～6年生の希望者114人と人権擁護委員の皆さんが、ベゴニアやニチニチソウなどおおよそ200株の苗を、丁寧にやさしく花壇に植えました。秋には駄知町内の公共施設などにメッセージを添えて贈る予定です。

